SONY®

4-114-023-**02**(1)

IC レコーダー

お買い上げいただきありがとうございます

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取扱説明書

ICD-UX71/UX81/UX91

IC RECORDER

© 2008 Sony Corporation　Printed in China

⚠警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

準備

用件を録音・再生する

編集する

機能を活用する — メニュー

パソコンを活用する

困ったときは

その他

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらイヤーレシーバーなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤーレシーバーで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

- 本製品の不具合により、録音ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合、録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、コンピューターなどに保存してください。

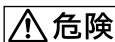
電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド（Ni-Cd）
ニッケル水素（Ni-MH）
リチウムイオン（Li-ion）

乾電池
アルカリ、マンガン

ボタン型電池
リチウムなど

⚠危険 充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間USB ACアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について

ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

⚠警告 乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、USB ACアダプターで使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

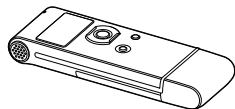
⚠注意 乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

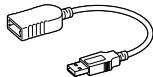
使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

箱の中身を確認しよう

本体(1)

表示窓に貼られているフィルムを
剥がしてお使いください。

ソニー単4形充電式ニッケル水素電池(1)

ステレオイヤーレシーバー（1）

USB接続補助ケーブル(1)

キャリングケース(1)

充電式電池用キャリングケース(1)

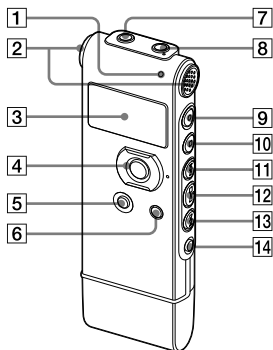
取扱説明書(1)

保証書(1)

ソニーご相談窓口のご案内(1)

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、本機を使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

各部のなまえ

本体(表面)

1 録／再ランプ
(17、21、22、29、34、56、59、74ページ)

2 内蔵マイク(ステレオ)(21、25ページ)

3 表示窓(12ページ)

4 コントロールボタン*1 (▲、▼ ／音量+、音量−) ／決定ボタン

5 分割ボタン(28、29、47、48ページ)

6 (フォルダ) ／メニューボタン
(18、21、34、50、54、64ページ)

7 (ヘッドホン)ジャック*2
(21、22、34、35、40、41ページ)

8 (マイク)ジャック(29、30、31ページ)

9 ● (録音／一時停止)ボタン
(21、22、27、29、30、31、32、33、52ページ)

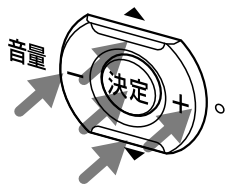
10 ■ (停止)ボタン
(18、19、21、22、34、36、38、41、43、47、50、64、74ページ)

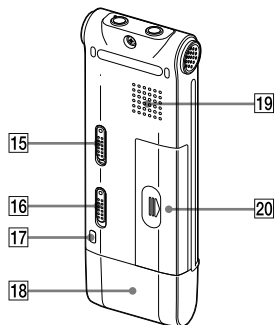
11 ▶▶I (早送り)ボタン(34、35、36、47、48、53ページ)

12 ►■ (再生／停止)ボタン
(22、34、36、38、40、41、42、64ページ)

13 I◀◀ (早戻し)ボタン
(22、34、35、36、47、48、53ページ)

14 (リピート) A-Bボタン(38ページ)

*1 コントロールボタンの使いかた
音量−、音量+を押して音量を調節します。メニューやフォルダ切り換えの操作にも使います。メニュー画面やフォルダ選択画面で▲または▼を押して項目を選び、決定ボタンを押します。

*2 付属のステレオイヤーレシーバーを ☊ (ヘッドホン)ジャックに差し込みます。雑音が入るときはイヤーレシーバーのプラグをきれいに拭いてください。

本体(裏面)

15 ホールドスイッチ(20、21、34、43、49ページ)

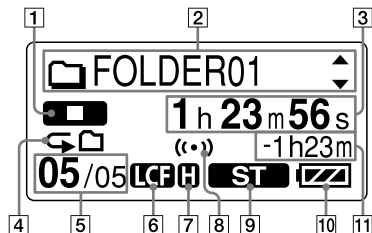
16 DPC (速度調整)スイッチ(38、39、53ページ)

17 ストラップ取り付け部
(ストラップは付属していません。)

18 USBキャップ

19 スピーカー

20 電池ぶた(14ページ)

表示窓

1 動作モード表示
本機の動作状態に応じて下記のように表示されます。
■：停止中
▶：再生中
REC：録音中
●II：録音一時停止中に点滅
REC VOR：VOR録音中
●II VOR：VOR録音一時停止中に点滅
VOR録音をONにしているときに●（録音／一時停止）ボタンを押して録音を一時停止すると ●II だけが点滅します。
REC SYNC：シンクロ録音中
●II SYNC：シンクロ録音一時停止中に点滅
◀◀ ▶▶：早戻し／早送り再生中
I◀◀ ▶▶I：連続用件戻し／送り

2 フォルダ名、用件タイトル名、アーティスト名、ファイル名表示
コントロールボタンの▲または▼を押して、フォルダ名、用件タイトル名、アーティスト名、ファイル名を順に表示できます。

3 経過時間、残り時間、録音日付、録音時刻表示

4 リピート表示
1：1件用件リピート再生中
：フォルダ内用件リピート再生中
ALL：全用件リピート再生中

5 位置情報表示
選んだ用件番号が分子にフォルダ内の総用件数が分母に表示されます。

6 LCF表示
本機で録音できるフォルダでメニュー「LCF（LOW CUT）」が「ON」に設定されているときに表示されます。

7 マイク感度表示
録音時のマイクの感度が表示されます。
H：会議録音モード
L：口述録音モード

8 アラーム表示
用件にアラームが設定されているとき表示されます。

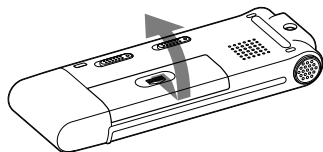
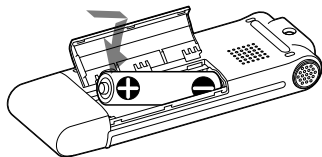
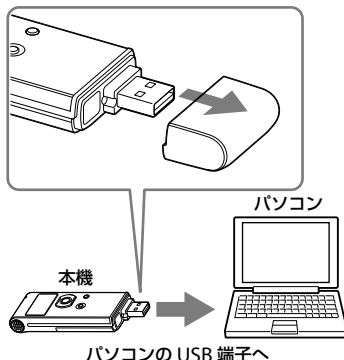
9 録音モード表示
停止中はメニューで設定されている録音モードが、再生中または録音中はその用件の録音モードが表示されます。
ST：ステレオ高音質モード
STSP：ステレオ標準モード
STLP：ステレオ長時間モード
SP：モノラル標準モード
LP：モノラル長時間モード
パソコンなどから転送されたファイルでは、下記のように表示されます。
MP3：転送されたMP3ファイル
WMA：転送されたWMAファイル

10 電池残量、充電表示
乾電池を使用しているときは電池残量が表示されます。
充電式電池を充電中にはアニメーション表示になります。

11 録音可能時間表示
録音可能時間を時間、分、秒で表示します。
10時間以上の場合：時間
10分以上、10時間未満の場合：時間と分
10分未満の場合：分と秒

準備1: 電源を準備する

表示窓に貼られているフィルムを剥がしてお使いください。

1 電池ぶたを矢印の方向へずらして開ける。

2 単4形充電式ニッケル水素電池(付属)を入れ、ふたを閉める。

3 本機のUSBキャップをはずし、電源の準備がされたパソコンのUSB端子につなぎ、充電式電池を充電する。

充電中は、「接続中」と電池マークがアニメーション表示されます。

電池残量表示が「FULL」になったら充電完了です。(充電時間：約4時間*)

はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、なるべく電池残量表示が「FULL」になるまで連続して充電することをおすすめします。

電池表示が消灯していたら充電ができていません。手順1からやり直してください。

* 室温で電池残量が無い状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、前ページの充電時間と異なる場合があります。また、充電式電池の温度が低い場合や、データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。

お使いのパソコンに本機を直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。

本機をパソコンから取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

1 録／再ランプが点滅していないことを確認する。

2 本機をパソコンのUSB端子から取りはずす。

Windows**の場合：**
タスクバーにある「ハードウェアの安全な取り外し」を左クリックし、「USB大容量記憶装置デバイス」を選びクリックしてください。

Macintosh**の場合：**
デスクトップの「IC RECORDER」のアイコンをドラッグして、「ゴミ箱」アイコンの上にドロップしてください。

取りはずし方の詳細については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- USB ACアダプターを使って家庭用電源につないでも（73ページ）、充電できます。
- 電池を交換する際、電池をとりはずしても録音した用件やアラーム設定は消えません。
- 電池を交換する際、電池をとりはずしても約3分間、時計は動いています。

ご注意

- 電池残量、充電表示部に COLD または HOT が点滅している場合は充電ができません。周囲温度が5℃～ 35℃の環境で充電を行ってください。
- メニューで「詳細メニュー」の「USB充電」が「OFF」になっているとパソコンから充電することはできません。設定を「ON」にしてください（56ページ）。
- 本機にはマンガン電池はお使いになれません。
- 内蔵スピーカーで再生しているときは充電ができません。
- 充電式電池をお使いの場合、電池残量表示が全点灯にならないことがあります。

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかった後に電池を入れたときには、年表示が点滅します。「準備2: 時計を合わせる」の「準備1に続けて時計を合わせる」(18ページ)をご覧になり、時計を合わせてください。

充電済みの充電池、または別売の単4形アルカリ乾電池を使うときは

手順1－2にしたがって準備します。

電池を充電／交換する時期

電池の残量がなくなってくると、表示窓の表示でお知らせします。

電池の残量表示

（電池残量少アイコン点滅）：電池の充電／交換時期が近づいています。

⬇

（電池残量なしアイコン点滅）：「電池残量がありません」が表示され、操作ができなくなります。

電池の持続時間

充電式電池の持続時間[*1]（ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AAAを連続使用時）

	STモード[*2]	STSPモード[*3]	STLPモード[*4]
録音時	約14時間30分	約14時間30分	約16時間30分
スピーカー再生時[*7]	約18時間	約18時間	約18時間30分
ヘッドホン再生時	約44時間30分	約44時間30分	約47時間

	SPモード[*5]	LPモード[*6]	音楽ファイル（128 kbps/44.1 kHz）
録音時	約15時間	約17時間30分	－
スピーカー再生時[*7]	約18時間30分	約19時間30分	約18時間30分
ヘッドホン再生時	約46時間	約48時間30分	約44時間30分

乾電池の持続時間＊[1]（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG）を連続使用時）

	ST モード＊[2]	**STSP モード**＊[3]	**STLP モード**＊[4]
録音時	約13時間	約13時間	約15時間
スピーカー再生時＊[7]	約16時間	約16時間	約16時間30分
ヘッドホン再生時	約40時間	約40時間	約42時間30分

	SP モード＊[5]	**LP モード**＊[6]	**音楽ファイル（128 kbps/44.1 kHz）**
録音時	約13時間30分	約16時間	ー
スピーカー再生時＊[7]	約16時間30分	約17時間	約16時間
ヘッドホン再生時	約41時間30分	約43時間30分	約40時間

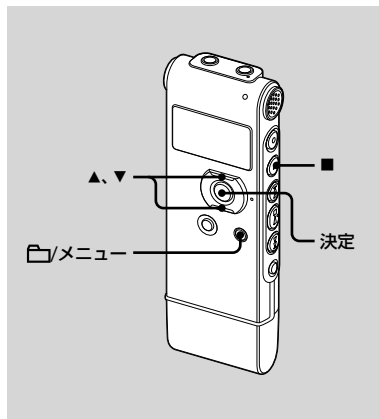
＊[1] 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
＊[2] STモード：ステレオ高音質モード
＊[3] STSPモード：ステレオ標準モード
＊[4] STLPモード：ステレオ長時間モード
＊[5] SPモード：モノラル標準モード
＊[6] LPモード：モノラル長時間モード
＊[7] 音量レベルを24に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

アクセス中のご注意

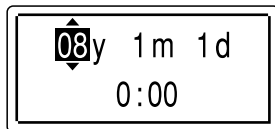
画面上にデータベース更新中のアニメーションが出ている間や、本体上部の録／再ランプがオレンジで点滅または赤で点灯している間は、メモリーへアクセス中です。アクセス中は、電池をはずしたり、USB ACアダプター（別売）を抜き挿ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

ご注意

用件数が多いと、データベース更新中のアニメーションが長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。

準備2: 時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、本機の時計を合わせておく必要があります。
お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま3分以上お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、「時計を設定してください」が表示された後、年表示が点滅します。

準備1に続けて時計を合わせる

1 年月日と時分を合わせる。
コントロールボタンの▲または▼を押して、年、月、日、時、分の順で数字を選び、決定ボタンを押す。

2 停止画面に戻すには■(停止)ボタンを押す。

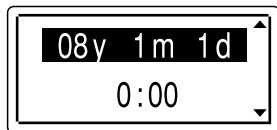
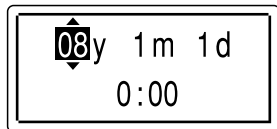
メニューを使って時計を合わせる

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。

1 メニュー画面で「時計設定」を選ぶ。
①/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

② コントロールボタンの▲または▼を押して、「詳細メニュー」を選び、決定ボタンを押す。

③ コントロールボタンの▲または▼を押して、「時計設定」を選び、決定ボタンを押す。

2 **コントロールボタンの▲または▼を押して、「08y1m1d」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **年月日と時分を合わせる。**
コントロールボタンの▲または▼を押して、年、月、日、時、分の順で数字を選び、決定ボタンを押す。

4 **停止画面に戻すには■（停止）ボタンを押す。**

ヒント

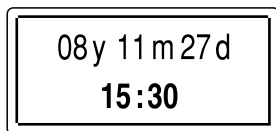
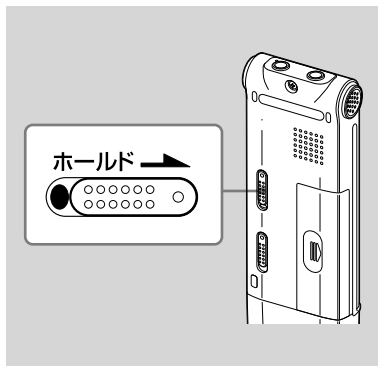
- /メニューボタンを押すと、1つ前の操作に戻ることができます。
- 時計の時刻表示形式はメニューで「12時間」と「24時間」に切り替えることができます。「12時間」に設定した場合は、「AM」、「PM」が表示されます。
- 「時計設定」のときは、コントロールボタンの音量－または音量+はカーソルを左右に動かすのに使います。音量を調節することはできません。

ご注意

それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされ、通常の表示に戻ります。

現在日時を表示するには

停止中に■（停止）ボタンを押すと現在日時が表示されます。

08y 11m 27d
15:30

電源を入／切する

本機をお使いにならないときは、電源を切ることで電池の消耗を抑えることができます。

電源を切るには

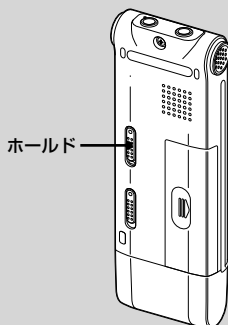
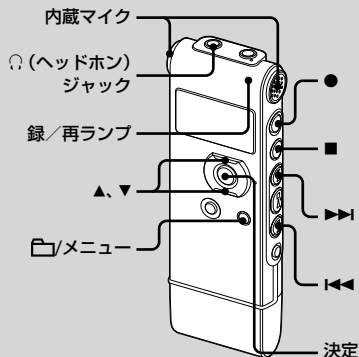
停止中にホールドスイッチを矢印の方向へずらすと、「HOLD」が点灯、鍵マークが点滅したあとに「電源オフ」が表示されます。
しばらくたつと表示が消灯して電源が切れます。

電源を入れるには

ホールドスイッチを矢印と逆方向へずらすとデータベース更新中のアニメーションが表示され電源が入ります。

ヒント

- 長時間ご使用にならない場合は、電源を切っておくことをおすすめします。
- 電源を入れて停止状態のまま10分経過すると自動的に表示が消えます。（ボタンを押せば、操作できます。）

用件を録音する

1 フォルダを選ぶ。

①/メニューボタンを押してフォルダ選択画面を表示する。

②コントロールボタンの▲または▼を押して録音したいフォルダ（ FOLDER 01 ～ 05）を選び、決定ボタンを押す。

2 録音を始める。

①停止中に●（録音／一時停止）ボタンを押す。

録／再ランプが赤く点灯します。

（メニュー「LED」を「OFF」に設定しているときは消灯します（56ページ）。）

●（録音／一時停止）ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

新しい用件は自動的に一番最後に録音されます。

②内蔵マイクに向かって話す。

3 録音を止めるには■（停止）ボタンを押す。

今録音した用件のはじめで停止します。

ヒント

- 本機で録音される用件はMP3ファイルで録音されます。
- 録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。
- お買い上げ時には5個のフォルダが作られています。ひとつのフォルダには最高99の用件が録音できます。
- 録音中にホールドスイッチを矢印の方向にずらすと、すべてのボタン操作ができなくなり、誤操作を防止します。

ご注意

- パソコンを使って作成した フォルダでは、録音ができません。 フォルダで録音ボタンが押されると自動的に録音可能なフォルダになり、そのフォルダの最終用件として録音されます。
- 録／再ランプが赤またはオレンジに点灯・点滅中は電池をはずしたり、USB ACアダプターを抜き挿ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
- 録音中、本機に手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。
- 録音を始める前に必ず電池残量表示（16ページ）を確認してください。
- 長時間録音途中の電池交換を避けたいときは、別売のUSB ACアダプターをお使いください（73ページ）。
- 録音モードを混在して録音した場合、最大録音時間は任意に変化します。

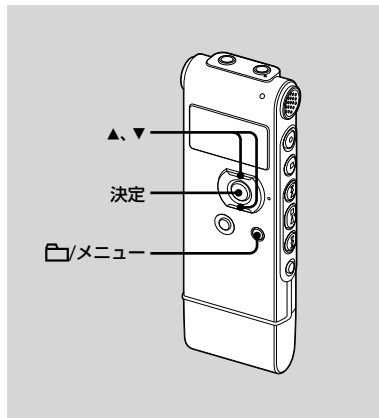
その他の操作

録音を一時停止する*	●（録音／一時停止）ボタンを押す。 録音一時停止中は録／再ランプが赤く点滅し、●II（録音一時停止）表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度●（録音／一時停止）ボタンを押す。 先ほど録音していた用件に続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■（停止）ボタンを押します。）
今録音したばかりの用件を聞く	►■ボタンを押す。 録音が解除され、今録音した用件のはじめから聞くことができます。
早戻し（レビュー）再生する	録音中または録音一時停止中に⏮◀ボタンを長押しする。 録音が解除され、今録音したところが早戻し（レビュー）再生されます。 ⏮◀ボタンを離すと、離したところから再生が始まります。

* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

録音中の音をモニターするには

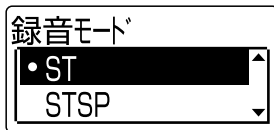
ステレオイヤーレシーバーを Ω（ヘッドホン）ジャックにつないで、モニターします。イヤーレシーバーからの音量（モニター音量）は、コントロールボタンの音量＋または－を押して調節します。録音される音量に影響はありません。

録音モードを選ぶ

停止中にメニューで用途に応じた録音モードを選ぶことができます。
お買い上げ時は、ST（ステレオ高音質モード）設定になっています。

1 **/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。**

メニュー画面が表示されます。

2 **コントロールボタンの▲または▼を押して、「録音モード」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **コントロールボタンの▲または▼を押して、「ST」、「STSP」、「STLP」、「SP」または「LP」を選び、決定ボタンを押す。**

ST： ステレオ高音質モード
（44.1 kHz/192 kbps）
ステレオ音声で高音質な録音ができます。

STSP： ステレオ標準モード
（44.1 kHz/128 kbps）
ステレオ音声で録音ができます。

STLP： ステレオ長時間モード
（22.05 kHz/48 kbps）
ステレオ音声で長時間の録音ができます。

SP： モノラル標準モード
（44.1 kHz/32 kbps）

LP： モノラル長時間モード
（11.025 kHz/8 kbps）
音質を重視しない簡易な録音、メモ録音は LP モードで長時間お使いになれます。

より良い音質で録音したいときは、STモードまたはSTSPモードをお使いください。

ご注意

録音中は「録音モード」の切り換えはできません。

録音可能時間について

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

ICD-UX71

STモード	STSPモード	STLPモード
11時間55分	17時間55分	47時間50分

SPモード	LPモード
71時間45分	287時間15分

ICD-UX81

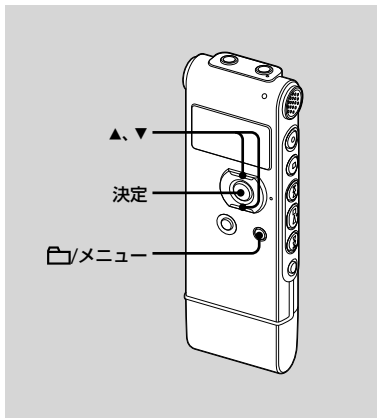
STモード	STSPモード	STLPモード
23時間55分	35時間55分	95時間55分

SPモード	LPモード
143時間50分	575時間35分

ICD-UX91

STモード	STSPモード	STLPモード
47時間55分	72時間	192時間

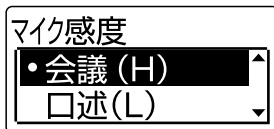
SPモード	LPモード
288時間	1152時間5分

マイク感度を選ぶ

停止／録音時にメニューでマイク感度設定を切り換え、用途に合わせて、内蔵マイクの感度を選ぶことができます。
お買い上げ時は、会議（H）設定になっています。

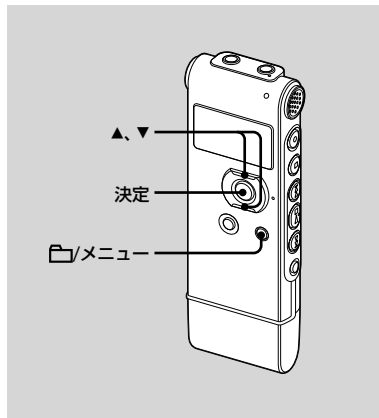
1 /メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「マイク感度」を選び、決定ボタンを押す。

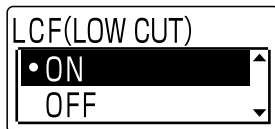
3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「会議（H）」または「口述（L）」を選び、決定ボタンを押す。

会議（H）：小さな音を大きくするとともに、全体の録音レベルを最適化することでバランスのとれた録音を実現します。広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。

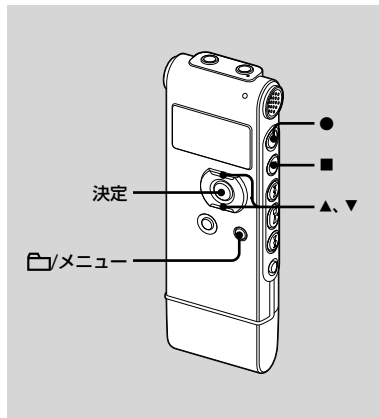
口述（L）：口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。

低い周波数の音をカットする
— LCF（Low Cut Filter）機能

停止／録音時にメニューで設定ができます。「LCF（LOW CUT）」を「ON」にすると、低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減することで、音声をよりクリアに録音できます。
お買い上げ時、「LCF（LOW CUT）」は「OFF」になっています。

1 **/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。**
メニュー画面が表示されます。

2 **コントロールボタンの▲または▼を押して、「LCF（LOW CUT）」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **コントロールボタンの▲または▼を押して、「ON」を選び、決定ボタンを押す。**

LCF（Low Cut Filter）を解除するには
手順3で「LCF（LOW CUT）」を「OFF」にします。

音がしたとき自動録音する — VOR録音

メニューで、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように設定することができます。
お買い上げ時、「VOR」は「OFF」になっています。

1 **/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。**
メニュー画面が表示されます。

2 **コントロールボタンの▲または▼を押して、「VOR」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **コントロールボタンの▲または▼を押して、「ON」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。**

5 **●（録音／一時停止）ボタンを押す。**
REC と VOR が表示されます。

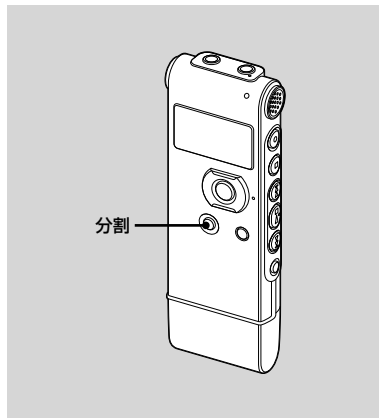
マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、VOR と ●II（録音一時停止）が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。
VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

VOR録音を解除するには

手順3で「VOR」を「OFF」にします。

ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「OFF」に設定してください。
- メニューで「VOR」を「ON」に設定して録音中に●（録音／一時停止）ボタンを押して録音を一時停止すると ●II だけが点滅します。
- シンクロ録音（31ページ）中はVOR設定は無効になります。

録音の途中で分割してふたつの用件として録音する — 分割新規録音

続けて録音しながら新しい用件として録音することができます。

録音中に分割ボタンを押す。

「分割中. . .」が表示されます。
押したところから新しい用件番号がつき、2つの用件として録音されます。録音は途切れずに続けて録音されます。

用件1	用件2	用件3

▲
用件分割

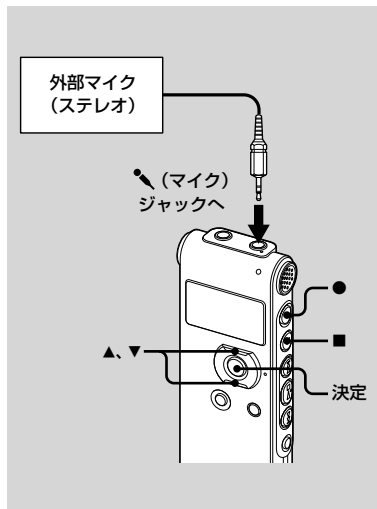
用件2と用件3は
続けて録音される

ヒント

録音一時停止中でも用件分割できます。

ご注意

- 用件を分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。詳しくは「システム上の制約」（72ページ）をご覧ください。
- フォルダに用件が99件ある場合は分割することができません。
- 分割した用件を再結合することはできません。
- 用件のはじめから0.5秒までと終わりから0.5秒までの間では用件分割はできません。
- 用件を分割した場合、前の用件の最後と後の用件の最初の音がわずかに切れることがあります。
- シンクロ録音（31ページ）中は用件を分割することはできません。
- 録音中に頻繁に用件分割してから次の操作をしたとき、録／再ランプが点滅し、操作を受け付けるまでの時間が長くなることがありますが、故障ではありません。ランプが消えるまでお待ちください。

外部マイクをつないで録音する

1 **停止中に外部マイクを (マイク)ジャックにつなぐ。**

画面に「外部入力選択」が表示されます。

2 **コントロールボタンの▲または▼を押して、「MIC IN」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **■(停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。**

4 **●(録音／一時停止)ボタンを押す。**

内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。

入力レベルが適正ではない場合は、本機のマイク感度の設定を変更してください。

プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

ご注意

外部入力選択が表示されない場合にはメニューで設定してください(55ページ)。

お使いになれるマイク

ソニー製エレクトレットコンデンサーマイクロホン(ステレオマイク) ECM-CS10、ECM-CZ10、ECM-DS70P、ECM-DS30P (別売)などをお使いいただけます。

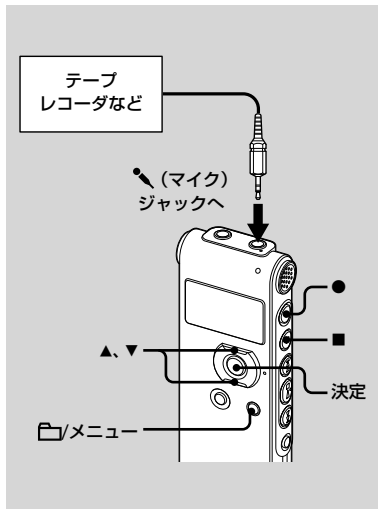
電話機や携帯電話の音声を録音するには

別売の電話録音用マイク、ECM-TL1を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。

接続方法などについて詳しくは、ECM-TL1の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 録音する場合には、本機と接続後、通話状態と録音レベルをご確認の上ご使用ください。
- 呼び出し音、発信音を録音した場合、会話が小さい音で録音されることがあります。そのような場合には、通話状態になってから本機を録音状態にしてください。
- 電話機の種類、回線の状況によってVOR機能が働かないことがあります。
- 本機を使って通話録音をした場合、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。

他の機器の音声を録音する

CDプレーヤーなど他の機器の音声を本機に録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成することができます。
シンクロ録音機能を使って録音すると、2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を感知したところから新しい用件として録音します。

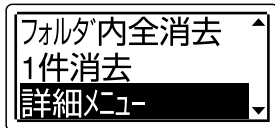
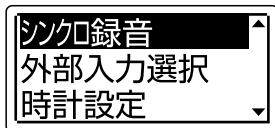
ヒント

録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

シンクロ録音機能を使って録音する

1 /メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「詳細メニュー」を選び、決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「シンクロ録音」を選び、決定ボタンを押す。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、「ON」を選び、決定ボタンを押す。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

6 停止中に他の機器を本機につなぐ。

他の機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）を別売のソニー製オーディオコード*を使って、本機の 🎤（マイク）ジャックにつなぎます。

画面に「外部入力選択」が表示されます。

7 コントロールボタンの▲または▼を押して、「AUDIO IN」を選び、決定ボタンを押す。

8 ●（録音／一時停止）ボタンを押す。

● II SYNC が点滅してシンクロ録音が一時停止の状態になります。

9 つないだ機器で再生を始める。

REC SYNC が表示され、シンクロ録音が開始されます。

2秒以上無音の部分が続くと、● II SYNC が点滅して、シンクロ録音が一時停止状態になります。シンクロ録音一時停止状態のときに、次に音を感知したところから新しい用件として、シンクロ録音が再開されます。

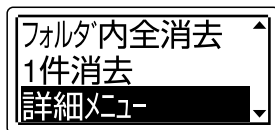
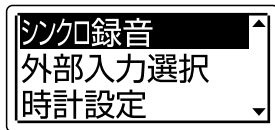
ご注意

- シンクロ録音中は、分割新規録音（28ページ）や録音一時停止（22ページ）はできません。
- ご使用の機器によっては、音声入力レベルの違いなどによりシンクロ録音機能が正常に動作しない場合があります。

シンクロ録音機能を使わずに録音する

1 🗀/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「詳細メニュー」を選び、決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「シンクロ録音」を選び、決定ボタンを押す。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、「OFF」を選び、決定ボタンを押す。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

6 停止中に他の機器を本機につなぐ。

他の機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）を別売のソニー製オーディオコード*を使って、本機の（マイク）ジャックにつなぎます。

画面に「外部入力選択」が表示されます。

7 コントロールボタンの▲または▼を押して、「AUDIO IN」を選び、決定ボタンを押す。

8 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

9 ●（録音／一時停止）ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、つないだ機器の音声を録音します。

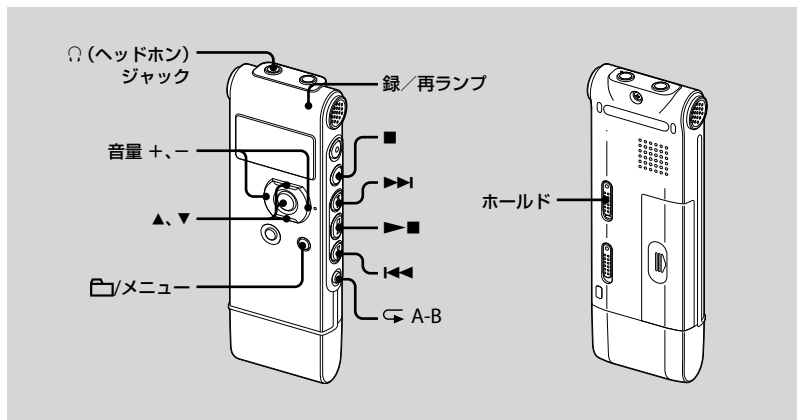
10 つないだ機器で再生を始める。

*お使いになれるオーディオコード（別売）

	本機側	接続先機器側
RK-G139	ステレオミニプラグ（抵抗なし）	ミニプラグ（モノラル）（抵抗なし）
RK-G136	ステレオミニプラグ（抵抗なし）	ステレオミニプラグ（抵抗なし）

ご注意

- 他の機器の音声を録音する場合はマイク感度の切り替えはできません。
- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子（ステレオミニジャック）を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。
- 外部入力選択が表示されない場合にはメニューで設定してください（55ページ）。

再生する

1 フォルダを選ぶ。

①/メニューボタンを押す。

②コントロールボタンの▲または▼を押して、フォルダを選び、決定ボタンを押す。

2 I◀◀または▶▶Iボタンを押して、聞きたい用件を選ぶ。

3 ▶■ボタンを押して、再生を始める。

録／再ランプが緑に点灯します。

(メニュー「LED」を「OFF」に設定しているときは消灯します(56ページ)。)

4 コントロールボタンの音量+または−を押して音量を調節する。

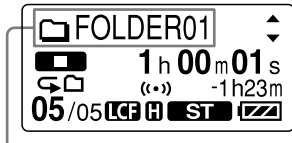
5 再生を止めるには■(停止)ボタンを押す。

ヒント

再生中にホールドスイッチを矢印の方向にずらすと、すべてのボタン操作ができなくなり、誤操作を防止します。

用件再生時の画面表示について

コントロールボタンの▲または▼を押して再生中のファイル情報を確認することができます。

本機で録音された用件は、下記のように表示されます。

- ：フォルダ名を表示：FOLDER01 ～ FOLDER05
- ：タイトル名を表示：年月日_番号(080101_001)
- ：アーティスト名を表示：Unknown
- ：ファイル名を表示：年月日_番号.mp3 (080101_001.mp3)

パソコンでフォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名を変更することができます。

高音質で再生するには

- イヤーレシーバーで聞く：
  付属のステレオイヤーレシーバーを (ヘッドホン)ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：
  別売のアクティブスピーカーを (ヘッドホン)ジャックにつないでください。

聞きたいところをすばやく探すには －イージーサーチ機能

メニューの中で「イージーサーチ」を「ON」に設定しておくと、再生中に▶▶|または|◀◀ボタンを何度か押して聞きたいところまで早送り、早戻しをして聞くことができます(53ページ)。|◀◀ボタンを1回押すごとに約3秒前、▶▶|ボタンを1回押すごとに約10秒先を再生します。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

再生中に早送り／早戻しするには（キュー／レビュー）

- 早送り（キュー）：再生中に▶▶Iボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：再生中にI◀◀ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

最後の用件の終わりまで再生または早送り（キュー）すると

- 最後の用件の終わりまで来ると、「MESSAGE END」表示が5秒点灯します。
  点灯中は録／再ランプは緑に点灯しています（再生音は聞こえません）。
- 「MESSAGE END」と録／再ランプが消えると、最後の用件の頭に戻って止まります。
- 「MESSAGE END」の点灯中にI◀◀ボタンを押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
- 最後の用件が長時間の用件の場合で、用件中の後ろの方を探して再生したい場合は、▶▶Iボタンを押し続けていったん用件の最後まで早送りして、「MESSAGE END」表示の点灯中にI◀◀ボタンを押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後の用件以外の場合は、次の用件の頭に送ってから再生中に早戻しすると素早く探せます。

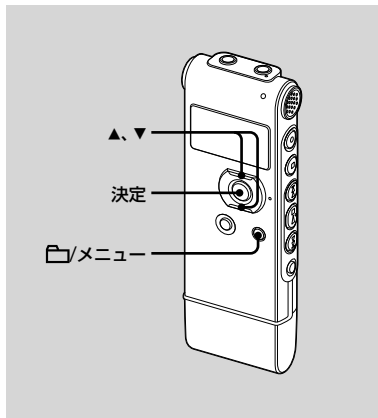
その他の操作

再生の途中、その位置で停止する	■（停止）ボタンまたは▶■ボタンを押す。 もう一度▶■ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。
今聞いている用件の頭に戻る	I◀◀ボタンを短く1回押す。*
前の用件、さらに前の用件に戻る	I◀◀ボタンを短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して戻ります。）
次の用件に進む	▶▶Iボタンを短く1回押す。*
さらに次の用件に進む	▶▶Iボタンを短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して戻ります。）

* メニュー「イージーサーチ」が「OFF」に設定されている場合の操作です（53ページ）。

1件リピート再生

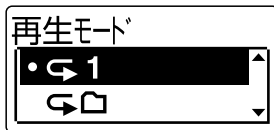
再生中に▶■ボタンを長押しします。
「⮎1」が表示されます。
通常再生に戻るには、▶■ボタンを押します。

再生方法を変える(再生モード)

メニューで用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

1 ⌂/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「1」、「⌂」、「ALL」、「⟳1」、「⟳ ⌂」または「⟳ ALL」を選び、決定ボタンを押す。

1	1件用件を再生する。
⌂	フォルダ内の用件を連続再生する。
ALL	全用件を連続再生する
⟳1	1件用件をリピート再生する。
⟳⌂	フォルダ内の用件をリピート再生する。
⟳ ALL	全用件をリピート再生する。

必要な部分だけを再生する — A-Bリピート

1 再生中に ⊊A-Bボタンを押して、A点を指定する。
「A-B B?」が表示されます。

2 もう一度 ⊊A-Bボタンを押して、B点を指定する。
「⊊A-B」が表示されて、指定した区間が繰り返し再生されます。

A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには

►■ボタンを押します。

A-Bリピート再生を停止するには

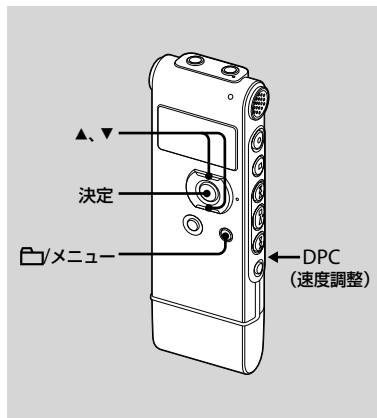
■（停止）ボタンを押します。

A-Bリピートの範囲を変えるには

A-Bリピート再生中にもう一度 ⊊A-Bボタンを短く押すと、手順1に戻り、新しいA点が設定されます。手順2に従ってB点を指定します。

ご注意

A点より前にB点の設定はできません。

再生速度を調整する — DPC（デジタル・ピッチ・コントロール）機能

再生速度を＋100%から–50%*の間で調整できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

* 用件がWMAの場合は、再生速度は0から–50%の間でしか調整できません。

1 **DPC（速度調整）スイッチを「ON」にする。**

2 **□/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。**

メニュー画面が表示されます。

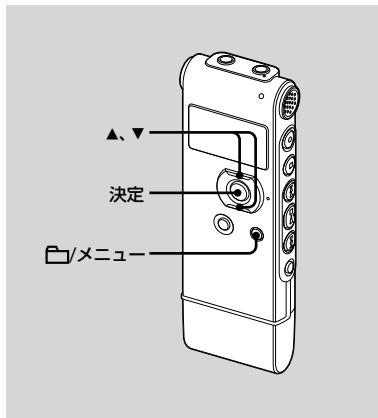
3 **コントロールボタンの▲または▼を押して、「DPC」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **コントロールボタンの▲または▼を押して、再生速度を調整する設定値を選ぶ。**

＋設定では「＋10」刻みで、－設定では「－5」刻みで設定します。

通常の再生速度に戻すには

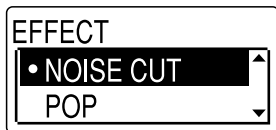
DPC（速度調整）スイッチを「OFF」にします。

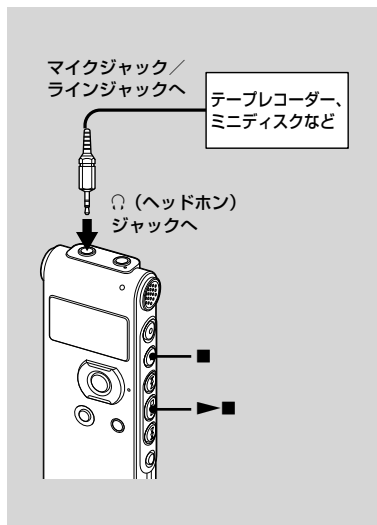
音質を切り換える

メニューで再生する音楽によって適した効果を設定します。内蔵スピーカーで再生している場合には設定は無効となります。

1 **□/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。**

メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「EFFECT」を選び、決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、お好みの音質を選び、決定ボタンを押す。

ノイズカット	雑音を低減して音声を聞きやすくします。
POP	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
ROCK	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
JAZZ	高域を強調した張りのある音質になります。
BASS 1	低音が強調されます。
BASS 2	低音が更に強調されます。
OFF	EFFECT機能は働きません。

本機の音声を他の機器で録音する

他の機器で本機の音声を録音する場合は、本機の🎧（ヘッドホン）ジャックと他の機器のマイクジャックもしくはラインジャック（ステレオミニジャック）を、別売のソニー製オーディオコード*を使ってつなぎます。

1 本機の∩(ヘッドホン)ジャックと他の機器のマイクジャックもしくはラインジャックを、別売のソニー製オーディオコード*を使ってつなぐ。

2 本機の►■ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。

本機の用件が他の機器に録音されます。

3 録音を止めるには、本機の■(停止)ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

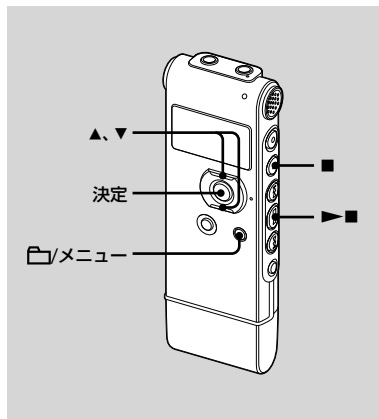
***お使いになれるオーディオコード(別売)**

ラインインを使って接続するときは、次の抵抗なしオーディオコードをお使いください。

	本機側	接続先機器側
RK-G139	ステレオミニプラグ(抵抗なし)	ミニプラグ(モノラル)(抵抗なし)
RK-G136	ステレオミニプラグ(抵抗なし)	ステレオミニプラグ(抵抗なし)

ヒント

録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

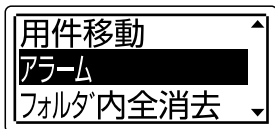
希望の時刻に再生を始める — アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともに用件を再生できます。

特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。

1 アラーム再生したい用件を表示させる。

2 アラーム設定をする。

① □/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

② コントロールボタンの▲または▼を押して、「アラーム」を選び、決定ボタンを押す。

③ コントロールボタンの▲または▼を押して、「ON」を選び、決定ボタンを押す。

3 アラーム再生したい日時、時刻を設定する。

① コントロールボタンの▲または▼を押して、「日時」、「月曜日」や「火曜日」など設定したい曜日、または「毎日」を選び、決定ボタンを押す。

② **「日時」を選んだ場合**：
「時計を合わせる」(18ページ)に従って年月日、時刻を設定します。
曜日や「毎日」を選んだ場合：
コントロールボタンの▲または▼を押して「時」を選び、決定ボタンを押し、同じようにコントロールボタンの▲または▼を押して「分」を選び、決定ボタンを押します。

メニューを終了すると「(•)」が表示されて、選んだ用件にアラームが設定されます。

設定した時刻になると

約10秒間アラーム音が鳴り「ALARM」が表示されて、選んだ用件の再生が始まります。
再生が終わると、自動的に停止します(アラーム再生した用件の頭に戻ります)。

アラーム再生された用件をもう一度聞くには

►■ボタンを押すと、その用件のはじめから再生されます。

用件が再生される前に止めるには

アラーム音が鳴っている間に■（停止）ボタンを押します。ホールドスイッチが入っていても止められます。

設定内容を変更するには

手順2から設定をやりなおします。

設定内容を解除するには

手順2でコントロールボタンの▲または▼を押して「OFF」を選び、決定ボタンを押すとアラームは解除されます。表示窓のアラーム表示が消えます。

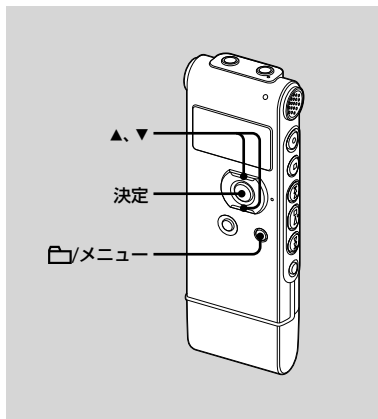
ご注意

- アラームは1件しか設定できません。
- 時計を合わせていない場合や、用件が録音されていない場合は、アラーム設定はできません。
- メニューで「ビープ」を「OFF」に設定していてもアラームが鳴ります。
- 録音中にアラーム設定した時刻になった場合は、「(•)」表示のみが点滅し、録音を終了したときにアラームが鳴り始めます。
- 「日時」を選んで設定したアラームは、アラーム再生を終了した後、設定が解除されます。
- アラーム設定した用件を消去すると、用件に設定されたアラームも一緒に解除されます。

用件を消去する

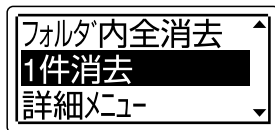
録音した用件を1件ずつ、または1つのフォルダ内の全用件を一度に消去できます。

ご注意
一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

1件ずつ消去する

停止中または再生中に消したい用件だけを消去できます。
用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

1 **消去したい用件を選ぶ。**

2 **/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。**
メニュー画面が表示されます。

3 **コントロールボタンの▲または▼を押して、「1件消去」を選び、決定ボタンを押す。**
消去したい用件が再生されます。

4 **コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、決定ボタンを押す。**
「消去中. . .」が表示され、用件が1件消去されます。

途中で消去をやめるには

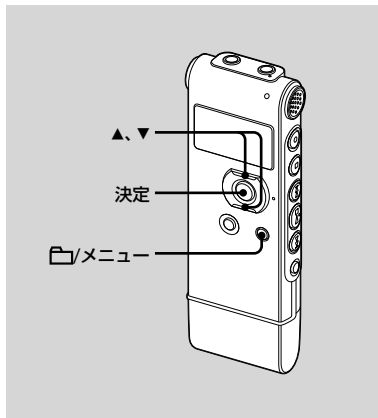
手順4で「キャンセル」を選び、決定ボタンを押します。

他の用件を消去するには

手順1から4を繰り返します。

ひとつの用件の一部分だけ消去するには

用件分割で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分の用件番号を選んで手順1から4の操作をします。

フォルダの中身を一度に消去する

1 **停止中に消去したいフォルダを選ぶ。**

2 **/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。**

メニュー画面が表示されます。

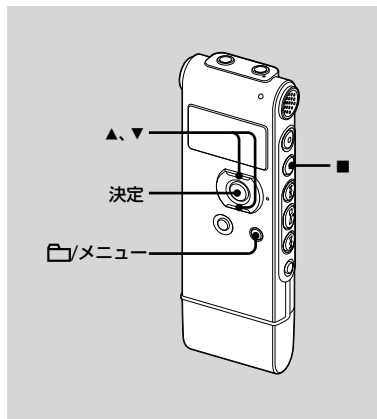
3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「フォルダ内全消去」を選び、決定ボタンを押す。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、決定ボタンを押す。

「消去中. . . 」が表示され、フォルダ内の全用件が消去されます。

途中で消去をやめるには

手順4で「キャンセル」を選び、決定ボタンをを押します。

用件を別のフォルダに移動する

ご注意

- フォルダ表示が になっているときは用件の移動はできません(61ページ)。
- へ用件移動はできません。

1 **移動させたい用件を選ぶ。**

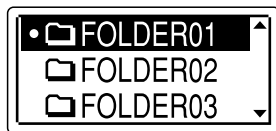
2 **□/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。**

メニュー画面が表示されます。

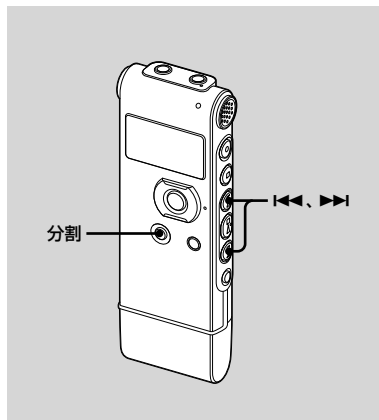
3 **コントロールボタンの▲または▼を押して、「用件移動」を選び、決定ボタンを押す。**

移動したい用件が再生されます。

4 **コントロールボタンの▲または▼を押して、移動先のフォルダを選び、決定ボタンを押す。**

「実行中...」が表示され、移動先フォルダの最終用件の位置に用件を移動します。移動すると、もとのフォルダからその用件はなくなります。

途中で用件の移動をやめるには

手順4の前に■（停止）ボタンを押します。

用件をふたつに分ける — 用件分割

再生中に用件を分割して、その場所に新しい用件番号が付けられます。会議など1件の用件が長時間になったときなどに、複数の用件に分割しておくと再生したい場所がすばやく探せ、便利です。分割したい用件が入っているフォルダの用件数が99件になるまで、用件を分割できます。

1 再生中に分割ボタンを押す。

用件タイトルと一緒に「分割しますか？ ［分割］ボタンで実行」が表示されます。

2 分割ボタンを押す。

「分割中. . .」が表示されて、新しい用件番号がつき、以降の用件番号はひとつずつ送られます。

用件1	用件2		用件3
	⇩ 用件分割		
用件1	用件2	用件3	用件4

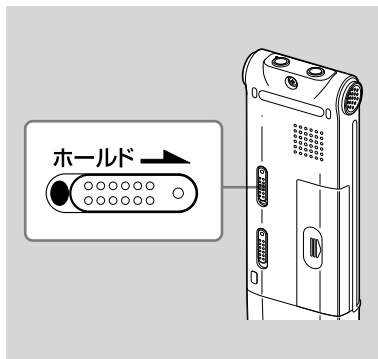
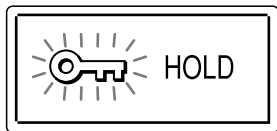
用件番号が1つずつ増える

ご注意

- 用件を分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。詳しくは「システム上の制約」（72ページ）をご覧ください。
- 用件タイトル、アーティスト名は分割した後ろの用件も同じになります。
- 本機で録音されたファイル以外（パソコンなどで転送したMP3ファイルやWMAファイル）は分割できません。
- 分割した用件は再結合できません。
- 頻繁に用件分割をすると、分割ができなくなることがあります。
- アラーム設定した用件を分割すると、分割した後ろの用件にはアラーム設定は残りません。
- 用件のはじめから0.5秒までと終わりから0.5秒までの間では用件分割はできません。

用件分割した部分を探して聞くには

分割した用件を1件として用件番号がついているので、用件番号を探すときと同様に⏮または⏭ボタンを押して再生する部分を探してください。

誤操作を防止する — ホールド機能

誤動作を防止するには、録音、再生中にホールドスイッチを矢印の方向にずらします。
「HOLD」が3秒間表示され、すべてのボタンが操作できなくなります。

ホールドを解除するには

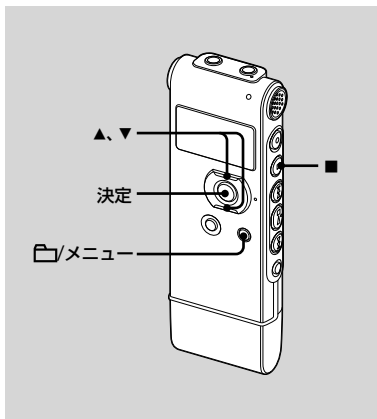
表示を出し、操作できるようにするには、ホールドスイッチを矢印と反対の方向にずらします。

ご注意

録音中にホールドにした場合、録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

ホールド中でもアラーム再生は止められます。

アラーム再生時、アラーム音や用件再生を止めるときには■（停止）ボタンは使えます。（通常の用件再生は停止できません。）

メニューの使いかた

1 /メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、設定し、決定ボタンを押す。

4 ■(停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

約1分間なにもしないと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中に /メニューボタンを押します。

メニューモードを中止するには

■(停止)ボタンを押します。

メニュー一覧

メニュー	動作モード(○：設定可能／－：設定不可) → 設定項目	停止中	再生中	録音中
録音モード	ST、STSP、STLP、SP、LP	○	－	－
マイク感度	会議(H)、口述(L)	○	－	○
LCF（LOW CUT）	ON、OFF	○	－	○
VOR	ON、OFF	○	－	○
表示切り換え	経過時間、残り時間、録音日付、録音時刻	○	○	○
DPC	n%（n = –50 ～ ＋100）	○	○	－
EFFECT	ノイズカット、POP、ROCK、JAZZ、BASS1、BASS2、OFF	○	○	－
イージーサーチ	ON、OFF	○	○	－
再生モード	1、🗀、ALL、↻1、↻🗀、↻ALL	○	○	－
用件移動	移動先フォルダ	○	○	－
アラーム	ON、OFF	○	○	－
フォルダ内全消去	実行、キャンセル	○	－	－
1件消去	実行、キャンセル	○	○	－
詳細メニュー		○	－	－
シンクロ録音	ON、OFF	○	－	－
外部入力選択	MIC IN、AUDIO IN	○	－	－
時計設定	_ _y_ _m_ _d _ _ : _ _	○	－	－
時刻表示形式	12時間、24時間	○	－	－
フォーマット	実行、キャンセル	○	－	－
ビープ	ON、OFF	○	－	－
LED	ON、OFF	○	－	－
バックライト	ON、OFF	○	－	－
USB充電	ON、OFF	○	－	－

メニュー	設定項目（*:初期設定）	参照ページ
録音モード	**音質などを設定します。** ST*：　ステレオ高音質モード STSP：ステレオ標準モード STLP：ステレオ長時間モード SP：　モノラル標準モード LP：　モノラル長時間モード	23
マイク感度	**マイクの感度を設定します。** 会議（H）*：広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。 口述（L）：口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。	25
LCF（LOW CUT）	**LCF（Low Cut Filter）機能を設定して、低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減することで音声をよりクリアに録音できます。** ON：　LCF機能を設定します。 OFF*：LCF機能を解除します。	26
VOR	**VOR（Voice Operated Recording）機能を設定します。** ON：　ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音を一時停止します。●（録音／一時停止）ボタンを押して、録音を始めるとVOR機能が働きます。 OFF*：VOR機能は働きません。	27
表示切り換え	**表示モードを設定します。** 経過時間*：1用件の経過時間 残り時間：停止／再生中は、1用件の残り時間 録音中は、録音可能時間 録音日付：録音した日付 録音時刻：録音した時刻	−

メニュー	設定項目（*:初期設定）	参照ページ
DPC	**DPC（Digital Pitch Control)の設定をします。** DPC（速度調整)スイッチを「ON」にした場合、再生速度を、＋100%から－50%の範囲で調整をします。＋設定では「＋10」刻みで、－設定では「－5」刻みで設定されます。 （－30%*） **ご注意** 用件がWMAファイルの場合は、再生速度は－50から0%の間でしか調整できません。	38
EFFECT	**再生する音楽によって適した効果を設定します。** ノイズカット：周囲の雑音を低減して音声を聞きやすくします。 POP：　中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。 ROCK：　低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。 JAZZ：　高域を強調した張りのある音質になります。 BASS 1：低音が強調されます。 BASS 2：低音が更に強調されます。 OFF*：　EFFECT機能は働きません。 **ご注意** 内蔵スピーカーで再生しているときにはEFFECT機能は働きません。	39
イージーサーチ	**イージーサーチを設定します。** ON：　再生中、▶▶Iボタンを押すと、約10秒進め、I◀◀ボタンを押すと、約3秒戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。 OFF*：イージーサーチ機能が働きません。I◀◀または▶▶Iボタンを押すと、用件を送り／戻しします。	35

メニュー	設定項目（*:初期設定）	参照ページ
再生モード	**再生モードを設定します。** 1：　1件用件を再生する。 [フォルダ]*：　フォルダ内の用件を連続再生する。 ALL：　全用件を連続再生する [リピート]1：　1件用件をリピート再生する。 [リピート][フォルダ]：　フォルダ内の用件をリピート再生する。 [リピート]ALL：　全用件をリピート再生する。	37
用件移動	**選んだ用件を選んだフォルダに移動します。** 移動する前に、移動したい用件を選んでから、メニューモードにしてください。	46
アラーム	**アラーム再生を設定します。** ON：　アラームを設定します。「ON」を選んだ後で、再生を始める日時や、曜日または毎日再生をする場合の時刻を設定します。 OFF*：　アラームを解除します。	41
フォルダ内全消去	**選んだフォルダの中身をすべて消去します。** 消去する前に、[フォルダ]/メニューボタンを押して消去したいフォルダに切り換えてから、メニューモードにしてください。「実行」を選ぶと消去されます。	45
1件消去	**選んだ用件を1件消去します。** 消去する前に、消去したい用件を選んでから、メニューモードにしてください。「実行」を選ぶと消去されます。	44

メニュー	設定項目（*:初期設定）	参照ページ
詳細メニュー		
シンクロ録音	**2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を感知したところから新しい用件として録音します。** ON：　シンクロ録音機能を設定します。 OFF*：シンクロ録音機能を解除します。	31
外部入力選択	**マイクジャックから録音する外部入力を選択します。** MIC IN*：　外部マイクをつないだときに選びます。 AUDIO IN：オーディオケーブルなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。	29、31
時計設定	**「年」「月」「日」「時」「分」をそれぞれ設定して時計を合わせます。**	18
時刻表示形式	**時刻表示形式を設定します。** 12時間：　12：00AM＝真夜中、12：00PM＝正午 24時間*：0：00＝真夜中、12：00＝正午	19
フォーマット	**ドライブの初期化を設定します。** 実行：　「フォーマット中. . .」が表示され、初期化します。 キャンセル*：初期化しません。 **ご注意** • フォーマットは必ず本機で行ってください。 • フォーマットをすると本機に保存したすべてのデータが消去されます。一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。	–
ビープ	**確認音を設定します。** ON*：操作時の受け付け確認音およびエラーのビープ音が鳴ります。 OFF：操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。 **ご注意** 「OFF」に設定していてもアラームは鳴ります。	–

メニュー	設定項目（*:初期設定）	参照ページ
詳細メニュー（つづき）		
LED	**録／再ランプの点灯、消灯を設定します。** ON*： 動作中は録／再ランプが点灯または点滅します。 OFF： 動作中も録／再ランプは点灯／点滅しません。 **ご注意** パソコンに接続しているときは、「OFF」に設定していても録／再ランプは点灯／点滅します。	–
バックライト	**バックライトの点灯、消灯を設定します。** ON*： 操作をするとバックライトが10秒間点灯します。 OFF： バックライトが点灯しません。	–
USB充電	**USB接続中の充電のON ／ OFFを設定します。** ON*： 充電式電池を充電します。 OFF： 充電機能は働きません。 **ご注意** 別売のUSB ACアダプターを使って充電するときは、この設定は関係ありません。	14

パソコンにつないで使う

必要なシステム構成

OS

Windows Vista® Ultimate
Windows Vista® Business
Windows Vista® Home Premium
Windows Vista® Home Basic
Windows® XP Media Center Edition 2005 Service Pack2以降
Windows® XP Media Center Edition 2004 Service Pack2以降
Windows® XP Professional Service Pack2以降
Windows® XP Home Edition Service Pack2以降
Windows® 2000 Professional Service Pack4以降
Mac OS X（v10.2.8-v10.5）
標準インストール（日本語版のみ）

ご注意

- 上記以外のOSは動作保証いたしません。（Windows® 98/Linuxなど）
- 64 bit版のOSには対応しておりません。
- 最新の対応OSについては、ICレコーダーカスタマーサポートページ http://www.sony.co.jp/ic-rec-support をご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMacintosh

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート

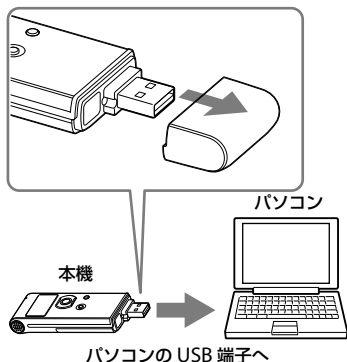
ご注意

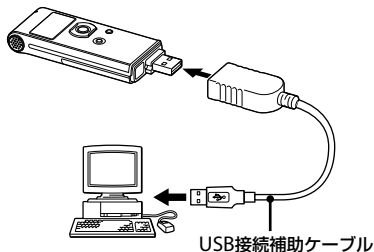
推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、NEC PC-98シリーズとその互換機、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

Windows® 2000 Professionalをお使いの場合

本機に収録されているファイル「SonyRecorder_Driver.exe」を使ってドライバをインストールしてください。

本機をパソコンに接続する

本機とパソコンで用件をやり取りするためには、本機をパソコンに接続します。
本機のUSBキャップをはずし、パソコンのUSB端子に接続します。
接続するとパソコン側で本機を認識することができ、用件のやり取りが行えます。
接続している間は本機の表示窓に「接続中」の表示が出ています。

ヒント

本機がパソコンのUSB端子に直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。

ご注意

- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- 付属のUSB接続補助ケーブル以外のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコン接続時は必ず電池を挿入してからお使いください。
- パソコンとは必要なときだけ接続することをおすすめします。パソコンを使って操作しないときは、本機ははずしておいてください。

本機をパソコンから取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

1 録／再ランプが点滅していないことを確認する。

2 本機をパソコンのUSB端子から取りはずす。

Windows**の場合：**
タスクバーにある「ハードウェアの安全な取り外し」を左クリックし、「USB大容量記憶装置デバイス」を選びクリックしてください。
Macintosh**の場合：**
デスクトップの「IC RECORDER」のアイコンをドラッグして、「ゴミ箱」アイコンの上にドロップしてください。

取りはずし方の詳細については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ファイルをパソコンから本機に転送する

パソコンにある音楽（語学）ファイル（MP3 ／ WMA*）を本機に転送して再生することができます。

お使いのパソコンにインストールされているプレーヤーソフトや市販のソフトなどでMP3/WMAファイルを作成することができます。

* 本機で可能なファイル形式については、「主な仕様」（76ページ）をご覧ください。

パソコンにある音楽ファイルを本機にドラッグ&ドロップしてコピーする

1 本機をパソコンに接続する(58ページ)。

Windowsでは、「マイコンピュータ」を開き、「IC RECORDER」が新しく認識されているかを確認してください。Macintoshでは、デスクトップに「IC RECORDER」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

2 パソコン内の音楽ファイルが入っているフォルダを本機にコピーする。

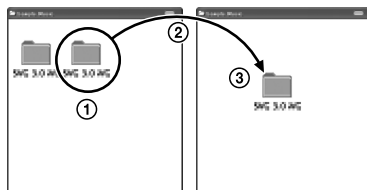
WindowsではExplorerを使って、MacintoshではFinderを使って、音楽ファイルが入っているフォルダを「IC RECORDER」にドラッグアンドドロップします。

本機では最大500個のフォルダまで認識できます。1個のフォルダには最大999件のファイルを、またフォルダ全体では最大5000件のファイルまで入れることができます。

再生については「音楽を再生する」(64ページ)をご覧ください。

ご注意

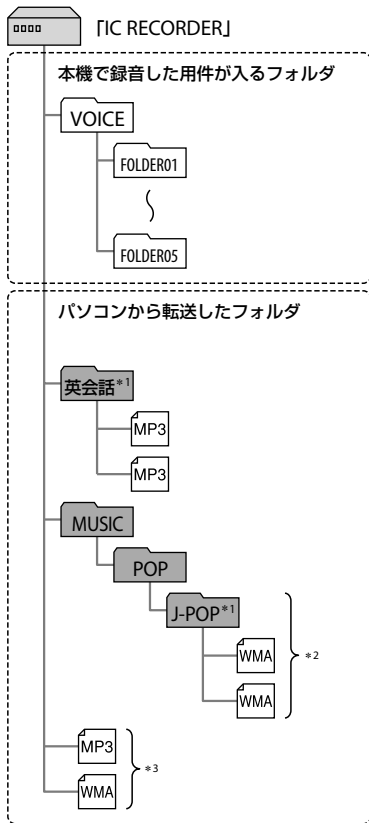
パソコンから転送した音楽ファイルでは、再生はできますが、ファイル(用件)の分割、移動などはできません。

フォルダを転送する(ドラッグアンドドロップ)

①コピーしたいフォルダをクリックしたまま、
②保存先まで移動(ドラッグ)して、
③はなす(ドロップ)

フォルダとファイルの構成

パソコンの画面で見ると図のように表示されます。
フォルダの違いは、本機の表示窓に表示されるフォルダ表示で区別できます。

- ：本機で録音した用件が入るフォルダ（お買い上げ時に作成されています。）
- ：パソコンから転送したフォルダ（パソコンから転送したときに表示されます。）

ご注意
本機で録音可能なフォルダは最大5フォルダです。

*[1] 音楽ファイルが保存されたフォルダ名は本機でも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくと便利です。（図は、フォルダ名称の例です。）

*[2] 音楽ファイルを認識できるのは、本機にコピーしたフォルダの3階層目までとなります。図の中の「J-POP」までが本機で認識されます。

*[3] 音楽ファイルを単独でコピーすると「未分類」のフォルダとして扱われます。

ヒント

- 音楽ファイルには、タイトル名やアーティスト名などの情報をID3-TAG情報として登録することができます。本機ではID3-TAG情報を表示することができますので、音楽ファイルを作成するソフトやパソコンでID3-TAG情報を入力しておくと便利です。
- 音楽ファイルを再生中にコントロールボタンの▲または▼を押すとID3-TAG情報が切り換えられます（65ページ）。

ご注意

- Windowsのシステム制約により、パソコンで「IC RECORDER」を開いてすぐの場所（ルートディレクトリ）には511個（VOICEフォルダを除く）以上のフォルダまたはファイルを転送することはできません（ICD-UX71/UX81のみ）。
- ID3-TAG情報にタイトル名またはアーティスト名が登録されていない場合は、「Unknown」と表示されます。

ファイルを本機からパソコンに転送する

本機にあるファイルやフォルダをパソコンに転送して保存することができます。

1 本機をパソコンに接続する（58ページ）。

Windowsでは、「マイコンピュータ」を開き、「IC RECORDER」が新しく認識されているかを確認してください。Macintoshでは、デスクトップに「IC RECORDER」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

2 転送したいファイルやフォルダをパソコンにコピーする。

「IC RECORDER」に入っているファイルが入っているフォルダをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。

USBマスストレージとして利用する — データストレージ機能

本機とパソコンをUSB経由で接続すると、パソコン上にある本機で録音したファイル以外の画像やテキストなどのファイルを本機に一時保存できます。
USBマスストレージとして使うためには、以下に記載したOSとUSBポートを持つパソコンが必要です。

OS

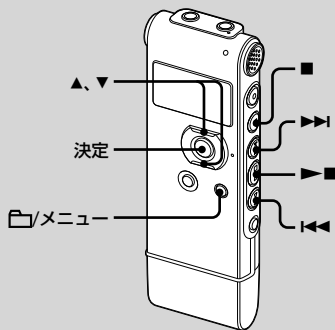
Windows Vista® Ultimate
Windows Vista® Business
Windows Vista® Home Premium
Windows Vista® Home Basic
Windows® XP Media Center Edition 2005 Service Pack2以降
Windows® XP Media Center Edition 2004 Service Pack2以降
Windows® XP Professional Service Pack2以降
Windows® XP Home Edition Service Pack2以降
Windows® 2000 Professional Service Pack 4 以降
Mac OS X（v10.2.8 - v10.5）
標準インストール（日本語版のみ）

ポート

USBポート

ご注意

- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、NEC PC-98シリーズとその互換機、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。
- 上記以外のOSは動作保証いたしません。（Windows® 98/Linuxなど）
- 64 bit版のOSには対応しておりません。

音楽を再生する

1 本機をパソコンからとりはずした後、本機の /メニューボタンを押し、コントロールボタンの▲または▼を押して音楽ファイルを入れたフォルダ( )を選び、決定ボタンを押す。

2 I◀◀または▶▶Iボタンを押して再生したい音楽ファイルを選ぶ。

3 ▶■ボタンを押して再生を始める。

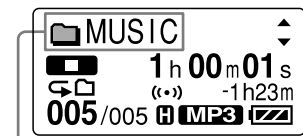
4 再生を止めるには■（停止）ボタンを押す。

パソコンにある音楽ファイルを本機に転送して再生する場合の最大再生時間（曲数*）は下記のようになります。

	128 kbps	256 kbps
ICD-UX71	17時間55分（268曲）	8時間55分（133曲）
ICD-UX81	35時間55分（538曲）	17時間55分（268曲）
ICD-UX91	72時間（1080曲）	36時間（540曲）

* 1曲4分を転送した場合

音楽再生時の画面表示について

コントロールボタンの▲または▼を押して再生中の音楽ファイルの情報を確認することができます。

：フォルダ名を表示
：タイトル名を表示*
：アーティスト名を表示*
：ファイル名を表示

* ID3-TAG情報が表示されます。

音楽再生をより楽しむために

再生方法を変える（再生モード）

メニューで用途応じた再生モード（1件用件再生、フォルダ内の用件連続再生、全用件連続再生、1件用件リピート再生、フォルダ内の用件リピート再生、全用件リピート再生）
を選ぶことができます。詳しくは37ページをご覧ください。

再生速度を調整する

再生速度を＋100%から－50%の間で調整できます。ただし、音楽ファイルがWMAの場合は、再生速度は0から－50%の間でしか調整できません。詳しくは38ページをご覧ください。

音質を切り替える

メニューで再生する音楽によって適した効果（ノイズカット、POP、ROCK、JAZZ、BASS）を設定します。詳しくは39ページをご覧ください。

希望の時刻に再生を始める — アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともに音楽ファイルを再生できます。詳しくは41ページをご覧ください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のICレコーダー･カスタマーサポートページをご覧いただくか、ソニーの相談窓口(裏表紙)までお問い合わせください。
なお、保証書とアフターサービスについては、75ページをご参照願います。

こんなときは

症状	原因／処置
電源が切れない。	• 停止中にホールドスイッチを矢印の方向に動かす(20ページ)。
電源が入らない。	• ホールドスイッチが入っている(電源オフモード)(20ページ)。 → ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かす。
液晶表示が消えない。 表示が2重に見える。	• 保護シートが付いていませんか？ → フィルムを剥がしてお使いください。
操作ボタンを押しても動作しない。	• 電池の⊕と⊖の向きが正しくない(14ページ)。 • 電池が消耗している(16ページ)。 • ホールドスイッチが入っている(49ページ)。
スピーカーから音が出ない。	• 音量が絞られている(34ページ)。 • イヤーレシーバーをつないでいる(35ページ)。
イヤーレシーバーをつないでいても、スピーカーから音が出る。	• 再生中にイヤーレシーバーを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんイヤーレシーバーを抜いて、最後までしっかり差し込む。
録／再ランプが点灯しない。	• メニューの「LED」が「OFF」に設定されている(56ページ)。 → 「ON」に切り換える。
「メモリーが一杯です」が表示され、録音できない。	• メモリーがいっぱいになっている。 → 不要な用件を消去する(44ページ)か、パソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。

症状	原因／処置
「用件が一杯です」が表示され、操作できない。	• 選んだフォルダ(フォルダアイコン)に99件の用件が入っているか、または、全体で495件の用件(フォルダが5個のとき)が入っているため、録音や用件移動ができない。 → 不要な用件を消去する(44ページ)か、パソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。
録音が途中で止まる。	• VORが作動している(27ページ)。VORを使用しないときは、メニューで「OFF」にする(52ページ)。
雑音が入る。	• 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。 • 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 • 外部マイク(別売)で録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。 → プラグをきれいにクリーニングする。 • イヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーのプラグが汚れている。 → プラグをきれいにクリーニングする。
録音レベルが小さい。	• マイク感度が「口述(L)」(口述録音モード)になっている。 → 「会議(H)」に切り換える(25ページ)。
他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	• 他の機器のヘッドホン端子を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	• DPC (速度調整)スイッチが「ON」になっているため、メニューの「DPC」で調整した再生スピードで再生されている(38ページ)。 → DPC (速度調整)スイッチを「OFF」にすると、通常の速度で再生されます。または、「DPC」で再生スピードを調整してください。
時計表示が「--:--」になる。	• 時計を合わせていない(18ページ)。
録音日時表示が「--y--m --d」または「--:--」になる。	• 時計を合わせていない時に録音した用件には、録音した日付は表示されません。
メニュー表示の項目が足りない。	• 再生、または録音中は、表示されないメニューがあります(51ページ)。
電池の持続時間が短い。	• 16、17ページの乾電池の持続時間は、音量レベルを24で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。

症状	原因／処置
電池を入れたまま長い期間使用しない後で、使おうとすると電池がなくなっている。	• 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。この場合の電池寿命は、温度などの環境によっても異なりますが、約4ヶ月が目安です。長い間ご使用にならない場合は、電源を切る（20ページ）か、電池をはずしておくことをおすすめします。
充電表示が表示されない。	• 充電式電池が入っていない。 • 充電式電池を入れる向きが正しくない。 • メニューで「詳細メニュー」の「USB充電」が「OFF」になっている。パソコンに接続して充電する場合は、設定を「ON」にする（56ページ）。 • 内蔵スピーカーで再生している。内蔵スピーカーで再生中は充電できません。
途中で充電表示が消えてしまう。	• ニッケル水素以外の充電式電池が入っている。 • 劣化した充電式電池を使用している。 • 内蔵スピーカーで再生している。内蔵スピーカーで再生中は充電できません。
電池残量、充電表示部に COLD または HOT が点滅表示している。	• 本機の充電可能な温度範囲外になっている。周囲温度が動作温度（5℃～35℃）になるようにする。
充電式電池の持続時間が短い。	• 5℃以下の環境で使用している。電池の特性によるもので故障ではありません。 • しばらく使用していなかった。何回か充電、放電（本機に入れて使用する）を繰り返す。 • 充電式電池の交換が必要です。新しい充電式電池と交換する。 • 短時間で電池残量表示が点灯しますがフル充電になっていません。電池残量が無い状態からフル充電までは約4時間かかります。
変更したメニュー設定が反映されていない。	• 設定変更直後に電池が抜かれた場合、本機のメニュー設定が反映されないことがあります。
パソコンで充電できない。	• パソコンから本機をはずし、再度接続してください。 • 本機が対応しているシステム構成（57ページ）以外では、動作保証はいたしかねます。
起動に時間がかかる。	• 用件数が多いと、起動するのに時間がかかることがありますが、故障ではありません。停止画面になるまでお待ちください。
正常に動作しない。	• 電池を取り出して、もう一度入れ直す。
本機が動作しない。	• パソコンで初期化（フォーマット）している。 → 本機で初期化を行ってください（55ページ）。

症状	原因／処置
パソコンで認識しない。 パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。	• パソコンから本機をはずし、再度接続してください。 • 付属のUSB接続補助ケーブル以外のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は、本機を直接、または付属のUSB接続補助ケーブルを使って接続してください。 • 本機が対応しているシステム構成（57ページ）以外では、動作保証はいたしかねます。 • お使いのパソコンのUSBコネクターの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBコネクターに接続してください。
転送したファイルが再生できない。	• 転送したファイルが本機で再生可能なファイル形式（.mp3/.wma）と異なる。ファイルの名称を確認してください（35ページ）。

修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

エラー表示一覧

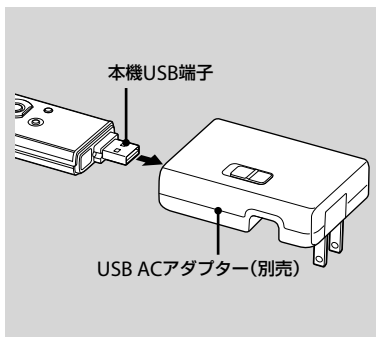
エラー表示	原因
電池が残りわずかです	• 電池が残りわずかのため、フォーマットやフォルダ内消去ができません。新しい電池の準備をしてください。
電池残量がありません	• 電池が消耗しています。新しい単4形乾電池と取り換えてください。充電式電池の場合は充電するか、充電済みの電池と取り換えてください。
メモリーが一杯です	• 録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかの用件を消去してからやり直してください。
用件が一杯です	• フォルダ内の用件の合計か、全体の用件数が最大になったため、新規の用件を作成できません。いくつかの用件を消去してからやり直してください。
ファイルが壊れています	• 選んだファイルのデータが破損しているので、再生や編集ができません。
本機でフォーマットが必要です	• パソコンで本機をフォーマットしたためUSB接続で電源を入れようとしても、動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューで本機のフォーマットをしてください。パソコンでフォーマットしないでください。
処理を継続できません	• メモリーの読み取りに失敗しました。電池を抜き差ししてみてください。 • 必要なデータをバックアップしてからメニューで本機をフォーマットしてください。 • 上記以外の場合は、ソニーの相談窓口（裏表紙）までご連絡ください。
時計を設定してください	• 時計合わせをしていないと、アラームは設定できません。
用件がありません	• 選んだ用件フォルダには1件も用件が録音されていません。用件移動とアラーム再生の設定などの操作ができません。
過去の日時です	• 現在日時よりも前の日時でアラームを設定しようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください。
ファイルがプロテクトされています	• 選んだ用件が「読み取り専用」になっています。消去などができません。パソコン上で「読み取り専用」属性をはずすと、本機で操作できるようになります。
非対応のデータです	• 本機で対応していないファイル形式のデータです。

エラー表示	原因
操作できません	• 複数のフォルダに同じファイル名の用件が保存されているため、用件移動や用件分割ができません。ファイル名を変更してください。 • フォルダ内の用件は、用件移動や用件分割ができません。 • 本機で録音した用件以外は、用件分割ができません。
新しい用件で録音を継続します	• 録音中の用件または音楽がファイルサイズの上限(1GB)に達しています。用件は自動的に分割され、録音を継続します。
フォルダを切り換えます	• で表示されるフォルダに用件がひとつもない場合、フォルダが表示できないため、表示できるフォルダに切り換えます。
故障です	• 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池をはずし、再度入れ直してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因／処置
最大録音時間まで録音できない。	• STモード、STSPモード、STLPモード、SPモード、LPモードを混ぜて録音すると、最大録音時間はSTモードとLPモードの最大録音時間の間になります。 • 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「録音可能時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。
音楽ファイルを順番に表示できない。	• パソコンを使って、本機に転送した音楽ファイルは、システムの制約により転送順にならないことがあります。
録音中に自動的に分割されてしまう。	• 録音中の用件または音楽がファイルサイズの上限（1GB）に達しています。用件は自動的に分割されます。
英文字がすべて大文字になってしまう。	• パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまうことがあります。
フォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名に「□」が表示される。	• 本機で表示できない文字が使用されています。パソコンで本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。
A-Bリピート設定でB点が設定できない。	• A点より前にB点を設定することはできません。
A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。	• パソコンを使って、本機に転送したファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。

USB ACアダプター（別売）につないで使う

USB ACアダプター（別売）を使って、本機と家庭用電源（コンセント）をつないで充電式電池を充電できます。充電をしながら本機を使用することができるため、長時間録音をする場合などに便利です。

1 本機のUSBキャップをはずし、別売のUSB ACアダプターにつなぐ。

2 USB ACアダプターをコンセントにつなぐ。

充電しながら本機を使うことができます。

充電中は、電池マークがアニメーション表示されます。電池残量表示が「FULL」になったら充電完了です。
（充電時間：約4時間*）
はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、なるべく電池残量表示が「FULL」になるまで連続して充電することをお勧めします。電池表示が消灯していたら充電ができていません。手順1からやり直してください。

* 室温で電池残量が無い状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、上記の充電時間と異なる場合があります。また、充電式電池の温度が低い場合や、データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。

本機を取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

1 録音や再生などの動作中の場合、■（停止）ボタンを押して動作を停止する。

2 録／再ランプが点滅していないことを確認する。

3 USB ACアダプターをコンセントから抜き、本機をUSB ACアダプターから取りはずす。

ご注意

- 電池残量、充電表示部が COLD または HOT と表示されている場合は充電ができません。周囲温度が5℃～ 35℃の環境で充電を行ってください。
- 内蔵スピーカーで再生中は充電できません。
- 録音中（録／再ランプが赤に点灯、点滅）やアクセス中（録／再ランプがオレンジに点滅）はコンセントにつないだ状態のUSB ACアダプターから本機を抜き挿ししたり、本機を接続したUSB ACアダプターをコンセントから抜き挿ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。また、用件数が多いと、起動画面が長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。
- USB ACアダプター（別売）使用時は、電池残量表示は表示されません。

使用上のご注意

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

ご使用場所について

- 運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - ほこりの多いところ。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(裏表紙)、お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

容量(ユーザー使用可能領域)

ICD-UX71:
1GB(約986MB=1,034,354,688 Byte)
ICD-UX81:
2GB(約1.92 GB=2,072,313,856 Byte)
ICD-UX91:
4GB(約3.86 GB=4,147,806,208 Byte)

メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

最大録音時間[*1]

24ページ参照

*1 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは乾電池の持続時間(16ページ)をご確認ください。

周波数範囲

ST:40〜20,000 Hz
STSP:40 〜 15,000 Hz
STLP:60〜7,500 Hz
SP:60〜10,000 Hz
LP:60〜3,400 Hz

MP3対応ビットレート、サンプリング周波数[*2]

ビットレート:
32 〜 320 kbps、
可変ビットレート(VBR)対応
サンプリング周波数:16/22.05/24/32/44.1/48 kHz

*2 これに加えて本体の各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

WMA対応ビットレート、サンプリング周波数[*3]
ビットレート：
32 ～ 192 kbps[*4]、
可変ビットレート（VBR）対応
サンプリング周波数：44.1 kHz

*3 WMA Ver.8 Class2Aに準拠していますが、MBR（Multi Bit Rate）、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。DRMコンテンツは再生できません。
*4 NoiseSubstitution機能には対応していないため、ビットレート32kbpsでは簡易再生となります。

スピーカー
直径10 mm

入・出力端子
外部入力（ステレオミニジャック）
プラグインパワー対応
最小入力レベル 0.9mV
ヘッドホン（ステレオミニジャック）
負荷インピーダンス 、8～300Ω
USB端子
High-Speed USB対応

再生スピード調整（DPC）
＋100%～－50%（MP3）
0%～－50%（WMA）

実用最大出力
90 mW

電源
DC1.2V、単4形充電式ニッケル水素電池（付属）1本
DC1.5V、単4形アルカリ乾電池（別売）1本

動作温度
5℃～ 35℃

最大外形寸法
約34.4×99.0×13.4 mm
（幅／高さ／奥行き）（JEITA[*5]）

質量
約48 g（充電式ニッケル水素電池1本含む）
（JEITA[*5]）

*5 電子産業技術協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

付属品
9ページ参照

別売アクセサリー
アクティブスピーカー SRS-T88
エレクトレットコンデンサーマイクロホン
ECM-CS10、ECM-CZ10、ECM-DS70P、
ECM-DS30P、ECM-TL1
オーディオコード RK-G136/G139
充電式ニッケル水素充電池単4形 NH-AAA-2BF
USB充電AC電源アダプター AC-U50AD
ニッケル水素電池専用充電器 BCG-34HRES

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください

索引

数字、記号、アルファベット順

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMac OSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには→ICレコーダー・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/ic-rec-support)
  ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- **電話・FAXでのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX番号)**
  - 本機の商品カテゴリーは[ICレコーダー]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆セット本体に関するご質問時:
    - 型名:ICD-UX71/UX81/UX91
    - シリアルナンバー:電池ボックス内
    - ご相談内容:できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時:
    質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口	フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・	0120-333-020
	携帯電話・PHS・一部のIP電話・	0466-31-2511
修理相談窓口	フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・	0120-222-330
	携帯電話・PHS・一部のIP電話・	0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX(共通)
0120-333-389
受付時間
月〜金:
9:00〜20:00
土・日・祝日:
9:00〜17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

* 4 1 1 4 0 2 3 0 2 * (1)